

NPO法人 FIELD

企画

する場

のおもちゃね...

お客さん側
ではなく

■ 事業内容

- ・子ども企画のコーディネート ・次世代（中高生）育成
- ・市民活動支援 ・米原公民館の管理運営 等

■ 会員数 12名

■ 問合せ TEL: 090-8523-2321

Mail: field_kosodachi@yahoo.co.jp

■ URL 館長ブログ「女館長太腕繁盛記」

<http://blogs.yahoo.co.jp/megumail0523>

2003年

任意団体「子育て支援NPO『FIELD』」として活動スタート。

各種団体とのタイアップを図りながら、子どもの手による企画づくりを支援。

2005年

「特定非営利活動法人FIELD」として法人化。

世代間交流を軸とした市民活動支援へと事業を広げる。

2006年

指定管理者として米原公民館の管理運営を担う。

ボランティア共同オフィス「たまるん」を開館。

子どもがさまざまな企画に主体的に携わることは、子どもたち自身の「育ち」にとって非常に大切な経験です。その「育ち」を応援するためには、子どもたちの企画と発想をサポートする大人・地域の役割が大変重要となります。

FIELDは、子どもたちの企画づくりを継続的に指導・サポートする組織として、子どもだけでなく地域社会全体におけるまちづくり参画をコーディネートし、魅力あふれる地域の「たまり場」創造をめざしています。



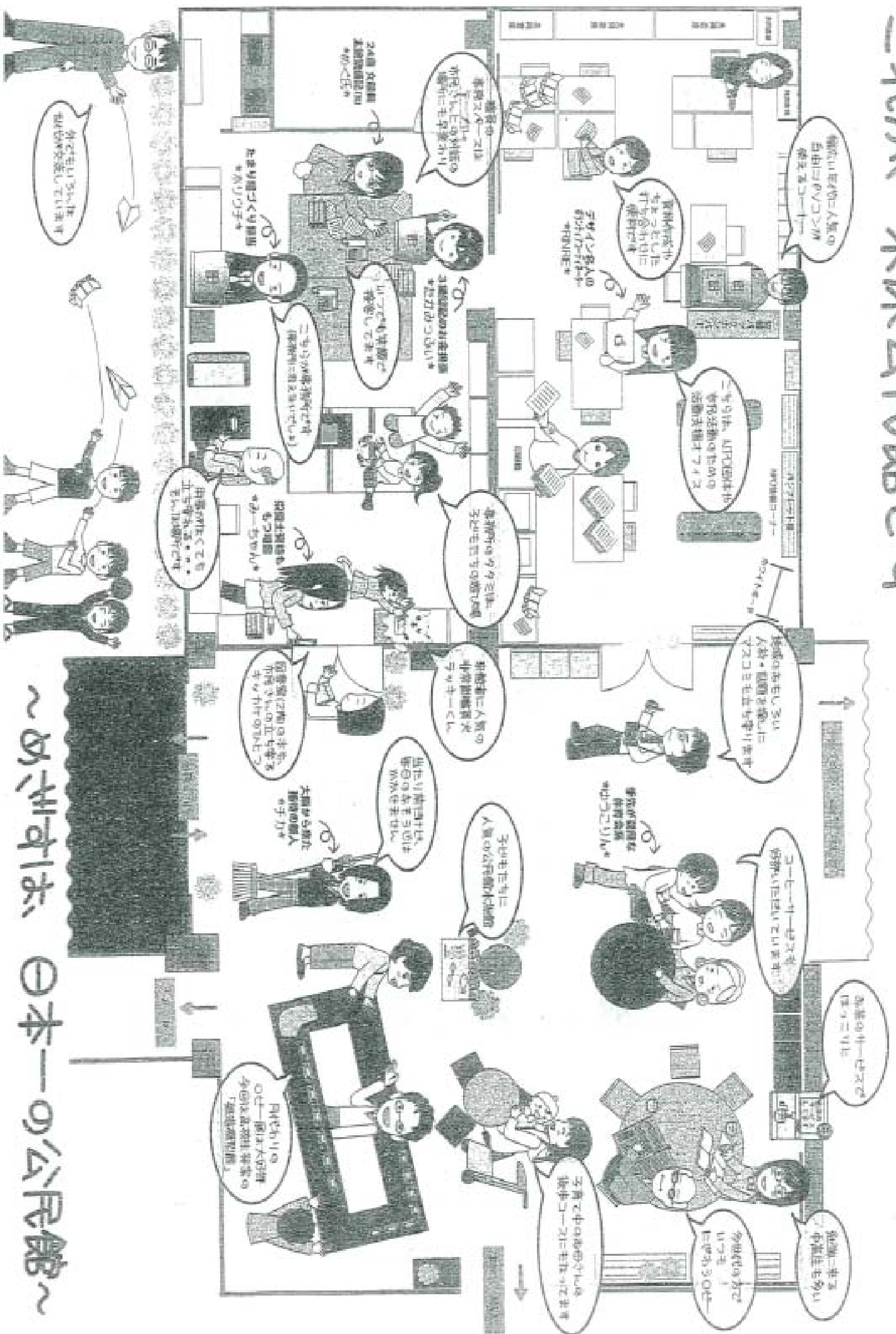
お問合せ

【NPO法FIELD】Tel. 090-8523-2321 / mail field_kosodachi@yahoo.co.jp

【米原公民館】Tel. 0749-52-2240 / fax 0749-52-2242

mail city.maibara-k@mountain.ne.jp

これが 米原公民館です



～ 郷土資料館 ① 本一の公民館～

一緒につくる みんなの 米原公民館

お客さん側から企画する **場** の面白さへ

米原公民館 3本の柱



公民館の本質である「地域課題の解決を担う公民のための館（寺中構想）」に立ち返り、「受身型（講座を聴かせるだけ）」から「能動型（学習から協働へのつなぎ役）」へ。

人と情報がフリーに集まる「自由なたまり場（三多摩テーズ）」という機能を重視。子どもからお年寄りまで、日常の学習相談や地域のつながりづくりをコーディネート。

少数精鋭の若手専門職中心の登用や、維持管理の総合アウトソーシングを図り、民生活導入の大命題である、「住民サービスの向上」と「コストダウン」を同時に実現。

運営体制

■若い専門職

即戦力となる20代の社会教育主事などの専門職を複数配置。「地元と外部」2つの視点で新しい公民館を創造。

■緊急時にも対応できる保守管理体制

文庫会館などにスタッフが常駐する大手企業「関西メンテナンス」への一括アウトソーシング。コストダウンのみならずスピーディかつトータルな対応も可能に。

■バックアップ体制

業務相談役として元米原公民館長を配置。そのほか、元社会教育課長などの賛助会員や、大学教授などの顧問が複数在籍。重要局面での実務指導および職員研修を行う。

■市内・県内NPOとのネットワーク

館長には市内および県内NPOとの広いネットワークをもつ当法人の理事長を配置。米原の地の利を活かし、県内各地の団体と積極的にタイアップ。

こほくNPO共同オフィス「たまるん」の開設 (淡海文化振興財団の助成金を活用)

米原市内および湖北地域のボランティア・NPOの共同事務所機能をもった自由な「たまり場」を開設。各種団体の活動拠点（共同オフィス）とし、専門のボランティアコーディネーターを配置。公民館事業はもちろんのこと、行政による各種まちづくり事業とのマッチングを積極的に図る。

- 4つの機能
- 1) 「共同オフィス機能」
 - 2) 「運営支援機能」
 - 3) 「広域支援機能」
 - 4) 「情報コーナー機能」

広域情報発信事業

※詳細は、請求参照

- 1) NPO・市民活動交流イベントの実施
- 2) 情報媒体の発信
- 3) メディア戦略

行政・企業とのコラボレーション事業

- 1) コンサルティング事業
- 2) 企業・行政とのマッチング事業

来館者の声

- ※館内の雰囲気明るくて入りやすくなった
- ※職員が明るく、元気で楽しそう
- ※事務室から挨拶されるのが気持ちいい
- ※職員が来館者との会話の時間を大事にしていることがよい
- ※公民館の雰囲気がとても良く、地元こういうところがあって米原の子どもたちはうらやましい（市外の方より）
- ※孫が家にいないから、ここへ来ると子どもたちがいてにぎやかでいいね（市内の年輩のご夫婦より）
- ※公民館の常連さんがお友達を誘って「たまるん」を利用。「和んだ場所になった」「良くなった」との声。



滋賀県米原市の米原公民館を訪ねた。地元の有識者の団体の運営に代わり、がぜん市民意識が広がりつつあることがわかった。

JR米原駅に近い8階建て、今年8月までは市の直営、会議室を貸すのが中心の「普通の公民館」だった。

4月、地元で子ども会など活動をしてきたNPO法人（特定非営利活動法人）の「FIRELID」が指定管理者として運営を任された。館長の浜川めぐみさん（24）と7人のスタッフ（全員が初代だ）。

公民館を開放して、気軽に立ち寄れる場所にした。1階の事務室には小中学生が毎日平

「官から民へ」

を読み解く

補助線

市民が生み出す公共性

編集委員 辻 陽明

均約20人訪れ、遊んでいく。隣のソファやロビーでは大人も小中学生やスタッフとおしゃべりをしていく。



そんな会館の中でスタッフが人材を募集し、講座などを企画する。カラオケ好きのおじいさんが実は新鮮果の運搬士だったとわかったのも会館の中からだ。そこから鉄道の講座が誕生。公民館祭りでは小中学生約40人が自ら企画してお化け屋敷を披露した。

来館 14割増、世代を越

えた地域コミュニティが公民館にできつつある。

北海道富良野市の劇場の指定管理者はNPO法人「ふらの演劇工房」だ。住民の実行委員会が劇団や音楽家、落語家を誘致する。学校や高齢者施設に出向いて演劇をする。

文化に能動的にかかわる住民の層がどんどん厚くなる。

市の運営ではできない「新しい公共性」が生まれていく。

指定管理者制度は小泉政権の「官から民へ」の一環として08年に導入された。一、支

出の削減と効率化を追い、地方自治体の公共施設の管理運営について民間委託を認める。保育所、高齢者福祉、スポーツ、観光、宿泊施設、図書館、公園などもある。



三菱総合研究所によると、対象は全国で約40万施設。今年には指定管理者への移行のピークだった。しかし、「民へ」の多くは民間企業で、NPO法人など市民主導の団体は極めて少ない。

る仕事を一人に頼らず、効率化し、利益をあげるのが目標だからだ。市民の団体は20人に増やす。参加の輪を広げることをめざすからだ。社会の課題を新たな切り口で解決する「公共性」はこの輪の広がりから生まれていく。

「OSOI（市民社会組織
Civil Society Organization）」という言い方があ

る。国連などで使われている。NGO（非政府組織）やNPO（非営利組織）というくくり方ではなく、市民の自発的、公共的な活動という「実態」を基準にする言葉だ。

日本でも「官製NPO法人」が増え、指定管理者になっている。「市民の公共性」は組織の実態にかかっている。キーワードはOSOIだ。

朝日新聞

全国版・経済面

2006.12.17

2 期 鬼は～そと！福は～うち！
まめまぎ大会

2月3日は雨天。
午前は公民館に集け出席！
みんなでお楽しみして
公民館を守ろう！



9 期 **21** 公民館でネットカフェ
パソコンに
さわってみよう！

初心者でも自分のペースで学習できると大好
評のネットカフェ。今回は、かわいいメッセ
ージカードをつくってみましょう。もちろん個々
の相談も大歓迎。お気軽におこください。

① ロビー
② 8時～12時
③ 無料 090-430

10 期 **2月10日は『ニットの日』**
ニットカフェで
編み物に挑戦！

簡単な「ニットむかし」「コースター」作
り体験。お茶を飲みながら気軽に編み物
に挑戦してみよう。覚えていだける
万々大歓迎。お好きな時間帯にどうぞ。

① 13時～15時
② ロビー
③ カざ針、毛糸
（無料）
④ 無料 090-430

11 期 **25** 図書で語をきたえよう！
小学生図書教室（全4回）

図書サークル「未来図書クラブ」の皆さまによる小学生のための図書教室です。
内容は、知恵力、想像力、創造
力、自己表現能力の発達に効
果的だと書かれています。前
回で遊びながら語をきたえ
てみましょう！

① 13時～15時
② 図書
③ 無料 090-430
④ 20名



